

事業所名 高砂市立高砂児童学園

支援プログラム

作成日

令和7年3月25日

法人（事業所名）理念		高砂児童学園は、こどもの「生きる力」を育てる為、こども達に障がいがあってもなくても地域で自分らしく幸せに生活できるよう、応援していきます。また、行政や地域の関係機関との連携を強化し、一人ひとりのこどもを皆で力を合わせて一緒に支えていきます。こどもから大人へと成長していくの中で、支援が途切れないように、地域の皆で支援のバトンを渡していきます。そして保護者の皆様が、希望をもって楽しく子育てができるよう、継続して一緒に考えていきます。「できた！」という瞬間、幸せが感じられた時、こども達もその周辺の大人達も皆、笑顔になります。そんな笑顔が高砂児童学園からどんどん広がっていくような支援を目指します！		
支援方針		小集団の中で、社会性を伸ばし、望ましい人格形成の基礎づくりと将来の自立に必要な生活習慣を身に付ける。 ・生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身に付ける。 ・身体を動かすことを楽しみ、丈夫な体をつくる。 ・いろいろな遊びを通して、豊かな情操や表現力を育てる。 ・人との関わりを通して、コミュニケーション力を身に付ける。 ・周りの人や友達に関心をもたせ、対人関係を育てる。		
営業時間		月曜日～金曜日 8：30～17：00 土曜・日曜・祝日を除く	送迎実施の有無	あり
支援内容				
	健康・生活	<u>健康状態の維持・改善</u> ・健康チェック表、登園時の視診、定期的な検温により健康状態のチェックを行い、気になる異変があれば早急に対応します。 <u>生活のリズムや生活習慣の形成</u> ・毎日登園することで、規則正しい生活習慣を身につけられるよう支援します。 ・健康な生活の基本となる食について、栄養士による栄養バランスの良い食事を提供します。また、楽しく食事ができるよう、刻み食等の特別食も提供し、いろいろな味を知ることができるように工夫していきます。 ・食物アレルギーのあるこどもには、アレルギー除去食も行い、安全に食事ができるように配慮します。 <u>基本的な生活スキルの獲得</u> ・食事、衣類の着脱、排泄、手洗い、歯磨き、うがい等の生活に必要なスキルが身に付くよう、毎日繰り返し練習していきます。 ・必要に応じて絵カード等の視覚支援を使い、こどもに分かりやすい環境を作ります。		

本人支援	運動・感覚	<u>姿勢と運動・動作の向上</u> ・広い園庭で身体を動かすことを楽しみながら、丈夫な体をつくります。 ・理学療法士や作業療法士による専門的な指導を受けながら、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善及び習得に努めます。 <u>姿勢と運動・動作の補助的手段の活用</u> ・体幹を鍛えて正しい姿勢で座れるように、背もたれのない椅子も使います。 ・自分ですくって食べられるように、必要に応じてユニバーサルデザインの食器を使います。 <u>保有する感覚の総合的な活用</u> ・トランポリンやバランスボール等も使って、感覚刺激を楽しみながら全身の筋力やバランス感覚を養います。 ・眼鏡や補聴器等の各種の補助機器を活用できるよう、家庭と協力していきます。
	認知・行動	<u>認知の発達と行動の習得</u> ・一日のスケジュールについて絵カードで示し、朝の集いでは言葉を添えて伝えることで、こどもが見通しをもって行動できるようにします。 ・戸外遊び終了の時間には、毎日決まった音楽を鳴らして伝える等、言葉以外の方法も使って分かりやすく伝えていきます。 <u>空間・時間・数等の概念形成の習得</u> ・絵の具や粘土遊び、植物を育てる活動等を通して、色や形や大きさや自然が変化する様子を観察します。 ・戸外遊びの準備ができたなら１０まで数えてから外に出る等、生活の中に１０まで数える機会をつくります。 <u>対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得</u> ・集中して活動に取り組むことができるよう、環境づくりに配慮します。 ・危険なことを繰り返さないよう環境を整え、適切な行動ができた時にはその子に合った褒め方をして認めていきます。
	言語 コミュニケーション	<u>言語の形成と活用</u> ・楽しい経験をする中で、自然に出る声や言葉を増やしていきます。 ・朝の集いで”名前呼び”を行い、まずは手を挙げて返事ができるようにしていきます。 <u>言語の需要及び表出</u> ・毎日「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「さようなら」等の挨拶を、身振りと言葉を使って行います。 ・欲しいものがあるときには「ちょうだい」と身振りや言葉で伝えてから渡すことで、発語に繋げていきます。 <u>コミュニケーションの基礎的能力の向上</u> ・こどもの気持ちを汲み取り、どのように伝えれば良いのか代弁します。 ・『「ちょうだい」「どうぞ」「ありがとう」♪』の歌等を活用し、コミュニケーションの方法を伝えていきます。 <u>コミュニケーション手段の選択と活用</u> ・クレーン、指さし、身振り、単語、二語文・三語文等、その子に合った方法で意思を相手に伝えられるよう支援します。

	人間関係 社会性	<u>他者との関わり（人間関係）の形成</u> ・まずは担任と一緒に好きな遊びを楽しみ、信頼関係を築いていきます。 ・わらべ歌等を通して、ふれあい遊びを楽しみます。 <u>自己の理解と行動の調整</u> ・友達と同じ遊びや活動に参加できるよう保育者が仲介しながら促し、社会性の発達を支援していきます。 ・ごっこ遊びやルールのある遊びも少しずつ経験できるよう、保育者と一緒に楽しんでいきます。 <u>仲間づくりと集団への参加</u> ・”順番”や”交代”等を遊びや生活の中で少しずつ経験しながら、集団生活に参加できるよう支援していきます。 ・クラスの友達だけでなく、他クラスの友達や他園の友達とも遊ぶ機会をつくっていきます。		
	家族支援	安心して通園できるように、毎日保護者の方に直接伝えたり、連絡ノート等を通して園での様子を細かく伝えます。また保護者の方の困り感に対しては随時相談に応じ、定期的なアセスメント・モニタリングも行いながら、こどもや保護者の方に寄り添った支援を考えていきます。その他、保護者会やペアレント・トレーニングも行います。	移行支援	就園・就学についての意向の聞き取りを行い、教育委員会等と連携し、必要な情報を提供します。”卒園児の保護者による体験談”も保護者会で開催します。卒園後は、アフターフォローとして相手先を訪問したり会議などを行い、スムーズに移行できるようにします。
	地域支援・地域連携	地域のこども園・保育園・幼稚園との交流保育を実施します。自立支援協議会定例会や児童発達支援連絡会等を通して関係機関と連携し、情報共有を行いながら地域で自分らしく過ごすことができるように支援します。	職員の質の向上	各種研修に参加し、専門知識を深め専門性を高めます。またセンターとして、研修の開催を企画し、地域の園・各事業所の方とも情報共有・資質向上の場を設けます。
	主な行事等	入園・進級式、新学期面談、卒園児アフターフォロー、ふれあい参観、オープンスクール、田植え、七夕まつり、プール遊び、縁日会、運動会、秋の遠足、芋ほり、稲刈り、ウィンターフェスティバル、調理実習、もちつき、防災ウィーク、節分、ひなまつり、お別れ遠足、卒園式、誕生会、保護者会、身体測定、避難訓練、地域の園との交流保育、訪問歯科指導、内科健診、歯科検診、尿検査、食育事業 春休み（3月25日～4月5日） 夏休み（8月10日～8月23日） 冬休み（12月25日～1月7日）		